

☆いつか奥尻の医療や福祉に貢献できれば

3年 kさん

町議会見学を終えて私は驚いたことがあります。

それは高校の議会とは全然くらべものにならないほどの厳正な雰囲気や質問の量です。

こんなに多く質問しても、即座に対応できる町長さんや理事者の方々はすごいと思いました。

そして、厳正な雰囲気の中にも場を和ませようとしているところがあって、とても勉強になりました。

次に一般質問では自分が気になっていた医療の問題など、自分の将来に関係がある内容を聴くことが出来て良かったと思います。

やはり私も今の国保病院が、今よりもっと良くなれば良いなと思います。なので質問した議員さんにはとても共感が持てました。

しかし、理事者の方々の答えを聴くと、やはり、時間がかかってしまうということが分かりました。

それに、今後の奥尻のために、沢山の話し合いがなされているのだと感じました。そして議会見学の後、

私もいつか奥尻の医療や福祉に貢献できれば良いなと思いました。

私は議会見学をするまで奥尻の財政や現状について無関心な部分もあったかもしれないですが、今回見学したのを機会に、とても関心が持てるようになりました。

多少、話が難しく理解できない部分もありましたが、このような話を奥尻の住民として理解できるように、

もっと奥尻について関心を持ち、勉強していきたいと思っています。

☆採決の真剣さと迫力伝わる

3年 k君

自分は中学校の頃も議会見学に行った事があり今回で2回目の見学でした。

しかし、1回目はあまり覚えていなかったので行った時は初めてのようない気持ちでした。

まず最初に思った事は、議会が始まる前と始まってからの雰囲気明らかに違っていました。緊張感がひしひしと伝わってきました。

議員の人達の顔つきもまさに真剣そのもので本当に迫力がありました。

内容は議員からの一般質問や議案の採決を見学しました。一般質問は2人が質問をしていました。

自分はその質問の内容を聴いていたが意味がわからなかったものから難しくさっぱりわからない内容まで様々な質問がありました。

大まかに覚えている内容は奥尻の病院についての内容でした。

医師についてや奥尻の病院に対しての信頼性に関してが細かい話題でした。

自分が本当にすごいと感じた事は、質問をされる側の町長さん達の対応です。

議員の人達はいっぱい質問をしていっているがしっかりと聴きその場でそれに対しての返答や意見をメモに取りながら聴いていました。

その1人の人の質問が終わったらすぐに質問された事に対しての返答を言える事が自分それが苦手なので自分にとってはすごかったです。

採決の時も真剣さが伝わってきて迫力がありました。このような体験はあまり

経験する事ができないので体験できてよかったです。議会の雰囲気味わえたしどういう風に行っているのかも知れて議会について色々学びました。今回、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

高校生の皆さん、感想文の提供ありがとうございました。

まだまだ皆さんの率直な感想文を紹介、掲載したいところですが紙面の都合上2人となりました。また機会がありましたら紹介したいと思います。さて、今春、高校を巣立ち皆さまはそれぞれの道に進まれます、近い将来、奥尻町の原動力になることを期待し、活躍、発展を祈っています。

議会のうごき

10 月

16日 議員全員協議会開催

11 月

9日～10日 「9町広域連携による観光地づくりフォーラム」(松前町) 議長出席

13日～14日 平成18年度決算審査特別委員会開催

15日～16日 檜山管内町村議会議長会臨時総会議開催(江差町) 議長出席

19日～21日 地方自治法施行60周年記念式典開催(東京都) 議長出席

26日 議会運営委員会開催・第3回町議会臨時会開催

28日～12月1日 離島振興町村議会議長全国大会及び町村議会議長開催(東京都) 議長出席

12 月

6日～8日 北海道市町村職員退職手当組合運営委員会(札幌市) 議長出席

12日 議員全員協議会・総務文教常任委員会開催

14日 議会運営委員会開催

18日 第4回町議会定例会開催

25日 広報編集特別委員会開催

編集を終えて

新年号の広報・おくしりに新村議長が、議会での歳入における審議が少ないと指摘されているが、確かに指摘はあっている。

しかし少ないのには理由があるのではないだろうか。歳出の審議では、議会費、総務費、民生費と「款」ごとに審議するが、歳入は一括審議されていることに理由があるような気がする。

今後、歳入の審議でも「款」ごとの審議になれば歳出と同じ熱の入れようで審議がされるのではないか。

議会の傍聴が商工会の女性会、高校生もされるようになった。限られた時間らしく、一般質問のみの傍聴になるが、普段聞きなれない言葉が交わされることもあって、難しいとの感想も耳に入る。

一般質問の形式は大きな項目で5問、質問明細が5問ずつあれば、答弁は25になり、再質問も25を続けて行うことになる。

質問する方も答弁する方も神経を研ぎ澄ませなければならぬし、答弁漏れ、質問漏れもある。

一般質問の回数も3回なら、大きな5項目について1項目ごとに3回ずつ行う形式にすれば質問者、答弁者、傍聴者は理解しやすいものになるのではないだろうか。

今後の検討課題だといえます。